

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和7年12月22日

協議会名：君津市地域公共交通会議

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

A：事業が計画に位置付けられた目標を達成した  
 B：事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった  
 C：事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
日東交通㈱ 三島線	木更津駅西口～八重原～中島	・市広報誌（10月号）で公共交通に関する特集を組んで、公共交通への転換を促した。 ・免許返納者への運賃割引サービス（ノーカーサポート優待証）を市HPや自治会回覧で周知した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率39.1%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は4.5%悪化し34.6%となつた。 【目標の達成状況の要因（分析）】 利用者が増えたことで収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となつた。		鉄道のダイヤ改正にあわせた、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通㈱ 君津市内循環線	八重原A3棟前～君津製鉄所～君津駅北口	・市広報誌（10月号）で公共交通に関する特集を組んで、公共交通への転換を促した。 ・免許返納者への運賃割引サービス（ノーカーサポート優待証）を市HPや自治会回覧で周知した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率54.1%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は3.6%悪化し50.5%となつた。 【目標の達成状況の要因（分析）】 利用者が増えたことで収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となつた。		鉄道のダイヤ改正にあわせた、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通㈱ 畠沢線	木更津駅西口～東畠沢～君津駅南口	・市広報誌（10月号）で公共交通に関する特集を組んで、公共交通への転換を促した。 ・免許返納者への運賃割引サービス（ノーカーサポート優待証）を市HPや自治会回覧で周知した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	B 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率38.7%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は変わらず、38.7%となつた。 【目標の達成状況の要因（分析）】 利用者が増えたことで収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となつた。		鉄道のダイヤ改正にあわせた、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和7年12月22日

協議会名：君津市地域公共交通会議

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

A：事業が計画に位置付けられた目標を達成した  
 B：事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった  
 C：事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
日東交通㈱ 高倉アカデミア線	木更津駅東口～かずさアーケ～かずさ小糸南	・市広報誌（10月号）で公共交通に関する特集を組んで、公共交通への転換を促した。 ・免許返納者への運賃割引サービス（ノーカーサポート優待証）を市HPや自治会回覧で周知した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率55.2%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は5.1%悪化し50.1%となった。 【目標の達成状況の要因（分析）】 利用者が増えたことで収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。		鉄道のダイヤ改正にあわせた、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通㈱ 富津線	木更津駅西口～青堀駅～富津公園	・市広報誌（10月号）で公共交通に関する特集を組んで、公共交通への転換を促した。 ・免許返納者への運賃割引サービス（ノーカーサポート優待証）を市HPや自治会回覧で周知した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率61.9%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は4.9%悪化し57.0%となった。 【目標の達成状況の要因（分析）】 R6.4に減便を実施したことにより利用者が減少し、また、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。		鉄道のダイヤ改正にあわせた、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。
日東交通㈱ 木更津鴨川線	亀田病院～かずさアーケ～イオンモール木更津	・市広報誌（10月号）で公共交通に関する特集を組んで、公共交通への転換を促した。 ・免許返納者への運賃割引サービス（ノーカーサポート優待証）を市HPや自治会回覧で周知した。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率32.7%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は3.9%悪化し28.8%となった。 【目標の達成状況の要因（分析）】 収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。		鉄道のダイヤ改正にあわせた、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年12月22日

協議会名：	君津市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>君津市では、広域な都市間を結ぶ広域幹線交通として鉄道・高速バスを軸に、路線バス、コミュニティバス、乗合タクシーにより構成される公共交通機関網が広がっている。これらの公共交通については、君津駅や君津バスターミナル、病院、商業施設等の市の主要施設や交通結節点等を網羅し、生活交通としての役割を担う中で、車を運転できない高齢者等を中心に、生活に必要不可欠な交通として機能している。</p> <p>また、この幹線交通に通じるコミュニティバス等が支線の役割を果たしている。</p> <p>しかしながら、2024年問題等を背景に運転手不足が深刻な状況となっており、人件費高騰による運行コストの大幅な増加や減便等が発生している。</p> <p>加えて、人口減少に伴い公共交通の維持・確保が困難になる一方で、高齢化の進展による移動困難者の増加から、地域の移動手段を確保することが重要になってきている。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持事業により、三島線、君津市内循環線、畠沢線、高倉アカデミア線、富津線、木更津鴨川線及びデマンドタクシー（きみぴょん号）を確保・維持することで、住民の生活に係る交通手段を存続させていくことが必要である。</p>